

令和3年度 第2回平塚市障がい者自立支援協議会 議事録

令和4年3月30日(水)10:00～
平塚市役所・平塚税務署 本庁舎6階 619会議室

【委員】

参加者:遠藤委員、前田委員、山崎委員、田丸委員、神尾委員、赤部委員、
竹内委員、平沢委員、宮崎委員、富岡委員、島田委員、橋本正行委員、
村田委員

欠席者:鈴木委員、渡辺委員、小島委員、山口委員、津久井委員、橋本勢作委員、

【事務局】

障がい福祉課:武井課長、村田課長代理、麻野主査、矢守主査、萩原主査、森山主査

こども家庭課:仁和担当長

オブザーバー:湘南西部障害保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター千葉氏

傍聴者 1名

【事務局】定刻になり、これより協議会を始める旨の宣言がある。

【障がい福祉課長】開会あいさつ

【会長】傍聴者の入場が許可される。(傍聴者1名)

議事

1 第1回平塚市障がい者自立支援協議会 書面会議の回答について

・会長より、日中サービス支援型 GH の設置については自立支援協議会で確認を得る必要がある旨、補足説明あり。

・事務局より資料3の GH についてはすでに3月開所している旨補足。

〈質疑・意見〉

・特に無し

2 相談支援事業報告について

【委員】

・資料4に基づき説明。コロナ禍で、通所できなくなった方の相談や、リモートを活用した会議開催を実施した。

【委員】

・資料5に基づき説明。引きこもりの課題がある。

【委員】

・資料6に基づき説明。成年後見の支援が後手に回ったり、利害関係者との支援の困難性、後見報酬の負担などの課題がある。さらなる普及啓発が必要と考える。通信制高校在籍者の相談先や状況の確認に課題がある。日中支援体制のあるグループホームが開設され、新たな選択肢となっている。

〈質疑・意見〉

【会長より】

・8050 問題から 9060 問題に広がってきている。平塚栗原ホームには地域包括支援センターもあるが、世帯の課題として受け止めることが多い。高齢分野だけではなく色々な分野との更なる連携が必要だと考えている。

3 各部会、分科会の活動報告等について

【委員】身障分科会

・資料7に基づき説明。生活介護事業所情報交換会を1回実施した。身障に関わらず事業所が参加した。民生委員への講演会を開催していたが、対面となるため、民生委員との連携を含め、検討していく。居宅介護事業所など他事業所との連携も検討する。

【委員】知的分科会

・資料8に基づき説明。昨年度に引き続きコロナ感染拡大防止のため、事業所見学は中止した。グループホームが増加しており、各事業所の連絡会を企画できないか検討している。

【委員】精神分科会

・資料9に基づき説明。分科会には当事者が参加している。3月15日の分科会にて災害時の医療や薬、慣れない場所での不安や不眠の課題が出ていた。精神保健福祉ガイドマップを更新し、平塚市のホームページに掲載した。高齢機関や日中活動系機関との連絡会を実施した。分科会にも包括の内容が関連する部分があるので、来年度の予定は今後検討していく。にも包括では、安心して生活できる場をグループホームに限らずに作れるよう検討していく。

【委員】就労支援分科会

・資料11に基づき説明。部会は2回開催。雇用支援セミナーと企業見学会を実施予定であったが、延期となったため来年度実施予定。

【事務局】こども部会

・資料12に基づき説明。各分科会を実施した。各関係機関との連携をしていく。

【委員】計画相談分科会

・資料10に基づき説明。基幹相談の内容を検討している。研修開催はリモートも含め検討していく。

〈質疑・意見〉

【委員】

・学校卒業後の相談機関について課題を感じている。中学卒業後にひきこもりなどで進学せず在籍がなくなると、放課後等デイサービスの対象でなくなり、「日中一時支援」の10日利用のみ対象となる。サービスの利用時間については、居場所づくりという意味でも、短時間利用も認められないか検討してもらいたい。さらに、大学生2名が4月から日中一時支援を利用して相談体制を取れるようにしている。市と相談支援事業所と連携してもらいたい。

【委員】

・ヤングケアラーは必ずしも障がい児ではない。障がい児ではない場合のこどもの対応が難しく、整理したい。色々な関係機関の支援が必要。

【事務局】

・15-18 歳の支援が障がい児福祉の狭間になっている。義務教育後のひきこもりや学校との連携が難しい場合に、サービスにつながらず、対応が困難となる。放課後等デイサービスについては、通所により、学校への復帰を目的としていけば、サービスの決定もできる。ぜひ、相談支援事業所からくれよんに相談していただければと思う。日中一時支援については、利用できる機関が少ないので、社会資源の開発も検討していきたい。ヤングケアラーについては、こども総合相談が担当なので、連携していきたい。

【委員】

・学校しかつながりがない方が中学校を卒業し、関わりがない状態になることが課題となっている。支援の方法を検討していく必要がある。

【委員】

・コロナ関連の情報提供。陽性者の増減によって濃厚接触者の待機期間が変わるなど随時対応が変化している。知りたい情報にスムーズにアクセスできるように、平塚市保健福祉事務所のHPでページを新規開設した。随時更新し、情報発信をしていきたい。電話での相談

がつながりにくい為、HPも活用してほしい。

・災害について、保健所は医療ケアや難病のケアが必要な方で、自助が大切なので、自宅どのように備えるのかの相談にのっている。嚙下困難者について、栄養士が災害時のパッキングッキングという湯煎でおいしく食べる方法などレシピ集を掲載している。備蓄や調理の工夫が載っているの、参考にしてもらえれば。

【会長】

・意見を踏まえて、各分科会で検討していただけたら。1つは、横の連携。各部会分科会の委員構成で、本人や家族などの参加を検討してもらいたい。新事業所との連携も併せて。もう1つは災害時。それぞれが災害時のことを意識した内容の話を進めてもらいたい。他市では、災害対策を分科会にしている場所もある。

【委員】

・今日は複数欠席者があり、当事者が一人だけという状況。自分たちの事を協議する場だと思うので積極的に参加していきたい。団体に報告するためにずっと報告を聞いていた。報告会ではなくて、検討する会議にしてもらいたいと思うし、するのが自立支援協議会ではないかと考えながら聞いていた。

・コロナ関連では、第5波の時に障害者団体が要望を出した。実際に高校生の孫がコロナになり、食料の調達に障がい当事者が行った。障がい者を持つ家庭で陽性者が出た場合はどうなるのかと考えた。ヘルパーも利用できなくなったら、保健所から食事が届いたとしても実際に食べられるのだろうかと考えていた。自閉症児の親は、家庭でコロナ発症し困ったケースがあり、こどもと親で入院したと聞いた。第6波の時には、障がい福祉課を通して、健康課へ要望を出した。実際にコロナにかかった時にはどうなるのかなと思った。

・分科会の分け方を障がい別にせず、課題別にするなど、生活に根差した分科会に分けた方が良いのかなと思う。その方が解決していきやすいのかなと思う。そこに当事者が入っていく。障がい別だと参加しにくいのではないかなと思う。分かれるものは少ない方が良いと思う。より自立支援につながる道を探っていけるのだと思う。

【委員】

・国は3障がい一体という考えで、個々の支援の状況でサービスを提供している。生活の断面、今ならコロナの状況で困っている家族がいると思うので、「コロナの対策検討委員会」を開催してほしいと思う。

【委員】

・事業所がコロナの影響で休止することがある。通所サービスを利用している方が、在宅になることになる。ニーズの見直しが必要になる。訪問入浴利用者が、1週間利用休止となった。

たまたま、居宅介護の時間に洗髪や清拭ができた。介護保険であればケアマネがニーズを抽出してサービスを組み立てるが、障がい福祉サービスにおいては希薄に感じる、担当者会議だけではなく、ニーズやアセスメントをしっかりと見立てる必要があると思う。

【委員】

・協議会の意見は、今後どのように反映されていくのかと考えていた。分科会での課題で共通のものが出た時に横断的に話し合いができるようになればと思う。保健所にも委員会があるが、3年を目安に検討している。それぞれの分科会で時期と目標をつくり、解決していこうというものがあるかわからない。

4 平塚市障がい福祉計画について(第6期)及び平塚市障がい児福祉計画(第2期)について(報告)

【事務局】

・資料13 平塚市障がい福祉計画(第6期)に基づいて説明。

【事務局】

・資料13 平塚市障がい児福祉計画(第2期)に基づいて説明。

〈質疑・意見〉

【委員】

・資料13-2、計画ヒアリング結果の NO.7の支援スキルについて、検討していただきたい。

5 その他

【オブザーバー】

・資料14に基づき説明。

【委員】

・福祉事業所合同説明会を実施する。今年度は動画配信で紹介していたが、来年度は5月に直接説明ができるように開催予定となっている。養護学校では進路指導の一部となっている。

【事務局】

・テレワークセミナーを実施する。

【委員】

・支援は枠組み関係なく情報共有できればと思う。日中活動の支援をしているが、支援スキルの問題や新事業所の情報など、色々な部分で情報共有を行い、同じ方向を向けるようになる。

ればと思います。

【事務局】

・次回協議会開催は令和4年6月頃を予定しております。

閉会（事務局）

・それでは、長時間にわたり熱心にご審議いただきまして、ありがとうございました。引き続き部会や分科会の活動につきましても、よろしくお願いいたします。これをもちまして、令和3年度第2回平塚市障がい者自立支援協議会を閉会いたします。

12:10 終了